

**<きく> さし木の発根促進及び発生根数の増加**

1. 浸漬によって病害が伝染する恐れのある場合は、オキシベロン液剤2倍液を切口に浸漬する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
オキシベロン液剤		-	1回	10秒さし穂基部浸漬
オキシベロン液剤		-	1回	3時間さし穂基部浸漬

**<きく> 花首伸長抑制**

1. ビビフルフロアブルは、有色系品種で花色に影響することがあるので、白色系品種のみで使用する。本剤は貯蔵中に分離することがあるので使用の際は容器をよく振り、所定の散布水量で茎葉部に均一にかかるように散布する。また、多量散布や重複散布は避け、希釈倍数、使用液量、使用時期は厳守する。皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意する。付着した場合には、直ちに石鹸でよく洗い落とす。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ビビフルフロアブル		発蕾期及び摘蕾期	2回	茎葉散布

**<きく> 開花促進、草丈伸長促進**

1. ジベレリン液剤・錠剤・粉末は希釈液を株全体に散布する。また、散布によって茎が細くなるので、株の状態によって濃度、回数を加減する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ジベレリン液剤		生育期	2回以内	茎葉散布

**<きく> 開花抑制**

1. エスレル10は、露地夏切り栽培に適する。株全体が濡れる程度に散布するが、効果には品種間差がある。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
エスレル10		摘芯時又は定植後1週間以内及びその後10～14日毎	3回以内	全面散布(株全体がぬれる程度)

**<きく(ホットマム)> 節間の伸長抑制(矮化)**

1. スミセブンP液剤は、他剤との混用は避け、茎葉散布は植物全体、特に新葉部に均一にかかるように散布する。また、周辺の作物に薬液がかからないように注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミセブンP液剤		摘芯10日後頃	2回以内	茎葉散布
スミセブンP液剤		摘芯10日後頃	2回以内	土壌灌注

**<きく(電照栽培)> 早期不時発蕾防止**

1. エスレル10は、電照栽培で用い、株全体がぬれる程度に全面散布する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
エスレル10		親株摘芯時	3回以内	全面散布(株全体がぬれる程度)

**<きく(ホットマム)(施設栽培)> 節間の伸長抑制**

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ビーナイン顆粒水溶剤		摘芯後10～7日又は定植3日後から発蕾初期	3回以内	茎葉散布